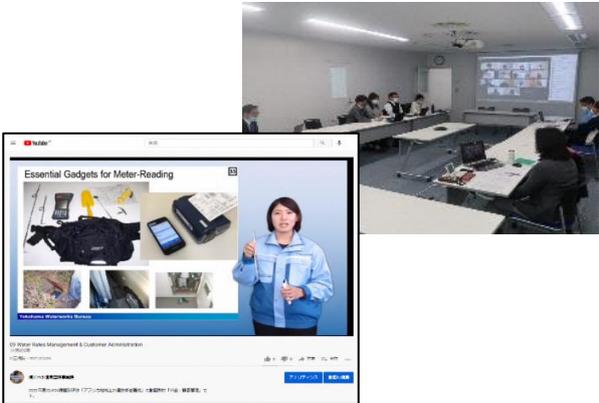


事業体（団体）名	横浜市水道局
----------	--------

事業名称	JICA課題別研修「アフリカ地域都市上水道技術者養成」
実施期間	2021年9月27日～10月28日
主催機関	国際協力機構（JICA）、横浜ウォーター株式会社、横浜市水道局
事業概要・目的	<p>横浜市水道局では、平成20年5月に横浜で開催された第4回アフリカ開発会議（TICAD IV）を契機として、JICAへ協力して、課題別研修「アフリカ地域都市上水道技術者養成」コースの受入を開始しました。約1か月のコースで、令和元年度までに13回実施し、30か国から133人を受け入れています。</p> <p>アフリカでは、現在も多くの国で水道事業に関する課題を抱えており、アフリカ開発会議でも毎回テーマとして取り上げられています。参加国の多くは、お客さまに配っている水のうち30～50%が漏水や盗水などで収入に結びつかないなどの課題に直面しています。</p> <p>水道局では、浄水処理や水質管理、水圧・水量・水質などの配水管理、水道計画、施設管理などの技術面に加え、料金管理や顧客管理、顧客サービス、経営計画など、水道事業全般の講義を行っています。参加者は、講義や実習で学んだことを踏まえて研修の中で自らの課題解決のための活動計画を策定し、自国に持ち帰って自らの取組みに繋がります。</p> <p>【令和3年度の具体的な研修の内容】</p> <p>令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で研修員の渡航が制限される中、2年度に引き続き、オンラインツールを活用した研修を実施しました。時差も考慮し、20～30分程度の動画教材を17講座作成し、動画共有サービスに公開し、週に1回、Zoomで繋いで質疑応答をしました。また、新たにオンライン浄水場視察も実施しました。</p>
対象（相手）国・機関名	令和3年度の研修員 8名：エチオピア（1）、ケニア（2）、スーダン（1）、マダガスカル（1）、マラウイ（1）、南スーダン（1）、ルワンダ（1）

写真



動画教材配布とウェビナー（質疑応答）の様子



オンライン浄水場視察の中継の様子

事業体（団体）名	横浜市水道局
----------	---------------

事業名称	JICA技術協カプロジェクト「マラウイ国リロングウェ市無収水対策能力強化プロジェクト」
実施期間	2019年6月から2024年4月まで（予定）
主催機関	国際協力機構（JICA）、株式会社協和コンサルタンツ、横浜ウォーター株式会社、横浜市水道局
事業概要・目的	<p>横浜市水道局では、令和元年6月よりJICA技術協カプロジェクト「マラウイ国リロングウェ市無収水対策能力強化プロジェクト（LiSCaP）」に長期専門家を派遣し、プロジェクトを支援しています。</p> <p>横浜市水道局はプロジェクトのチーフアドバイザーとして長期専門家を配置し、横浜水ビジネス協議会員である株式会社協和コンサルタンツと横浜ウォーター株式会社と連携して、チーム横浜で、マラウイ水事業の改善に取り組んでいます。</p> <p>プロジェクトでは、無収水（漏水や盗水などの収入につながらない水）を削減するための計画の策定、削減手法の習得、それらの知見の共有・発信などを指導しています。</p> <p>【令和3年度の具体的な活動の内容】</p> <p>令和2年度中は、新型コロナウイルス感染症の影響により日本からオンラインで活動していましたが、令和3年5月に現地に戻りプロジェクト活動を再開しました。6月には、プロジェクト成果の国内展開を図るため、マラウイ全国の5つの水道事業体を対象としたワークショップを開催しました。また、11月にはリロングウェ水公社が無収水削減に向けた戦略計画を策定しました。</p> <p>1月12日から2月4日まで、リロングウェ水公社職員に対してオンライン研修を実施しました。</p>
対象（相手）国・機関名	マラウイ国リロングウェ水公社（LWB）

写真



無収水削減戦略計画の策定指導



水道メーター設置の指導

事業体（団体）名	横浜市水道局
事業名称	パキスタン国ファイサラバード上下水道局との技術交流の覚書事業
実施期間	2019年10月～（覚書は毎年度更新）
主催機関	横浜市水道局
事業概要・目的	<p>横浜市水道局は、横浜ウォーター株式会社と連携し、JICA開発計画調査型技術協力「ファイサラバード上下水道・排水マスタープランプロジェクト」（2016年7月～2019年6月）を進める中で、支援先であるファイサラバード上下水道局（WASA-F）の総裁より、人材育成の観点から、更なる自治体連携の要望を受けました。相互の人材育成と水ビジネスの促進に資することから、2019年10月に「WASA-Fと当局との技術交流の覚書」を締結しました。</p> <p>【覚書の内容】</p> <p>(1) WASA-Fからの研修員受入（年1回、約4名、2週間程度） (2) （必要に応じて）当局職員のWASA-Fへの派遣と研修内容のフォローアップ (3) 横浜水ビジネス協議会会員企業の技術・製品の紹介</p> <p>【令和3年度の具体的な研修の内容】</p> <p>コロナ禍の中で研修員受入れに代えてオンラインセミナーを開催しました。なお、オンラインの利を活かし、ファイサラバードの位置するパンジャブ州の州都ラホールもセミナーに招待しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインセミナー（2021年9月15日・16日） <ul style="list-style-type: none"> - 「図面管理」「料金管理」「水安全計画」「水需要予測」をテーマにした意見交換 - 横浜水ビジネス協議会会員企業3社へのオンラインビジネスマッチングの機会提供（パキスタンの企業3社も参加）
対象（相手）国・機関名	パキスタン国ファイサラバード上下水道局、ラホール上下水道局
写真	
	
覚書締結式（2019年度）	オンラインセミナーの様子（2021年度）